



角川元気プロジェクト(戸沢村)が「輝けやまがた若者大賞」を受賞しました!

「角川元気プロジェクト」(戸沢村、安食勇代表)が今年度の「輝けやまがた若者大賞」を受賞し、11月26日(月)に県庁で授賞式が行われました。

同団体は、若者の出会いや交流の場の創出を目指し、平成26年から活動しています。20~40代の男女で構成され



ており、旧角川小中学校を活用した「TSUNOKAWA Summer Party」の開催等、大人から子どもまで楽しめるイベントを企画・運営しています。また、「とざわ旬の市」等の村内イベントへの出店・運営協力や、「最上地域理解プログラム ジモト大学」での高校生の受入れ等、年々活動の幅を広げており、こうした活動を通して、地域の魅力発信・活性化に貢献しています。今後の更なる活躍を期待します!

子ども家庭支援課 29-1245

山形県県土づくり感謝状贈呈式が行われました

山形県では、公共土木施設の美化活動や安全性の向上に関し著しい功績のあった団体及び個人へ、感謝状を贈呈しています。今年度は、道路美化活動部門などの6部門において63の団体・個人が表彰され、11月20日(火)に県庁で贈呈式が行われました。

最上総合支庁管内では、以下の8団体・2個人が表彰され、受賞者を代表して、最上町萱場町内会の大竹健一様が謝辞を述べられました。

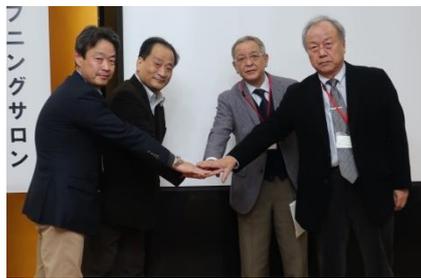
◎道路美化活動部門=下山屋地区、大福田地区、新田町内会、本合海地域保全会、矢口興業株式会社(以上新庄市)、蒲沢地区、三枝地区(以上金山町)、萱場町内会(最上町)

◎地すべり、急傾斜地巡視業務部門=叶内健一様(舟形町)、高橋廣明様(真室川町) 建設総務課 29-1391



「東北イブニングサロンネットワーク」設立

最上総合支庁では、平成19年度から、最上管内外の企業が優良な事例を発表し合い、交流を深めることで、ビジネスマッチングにつなげる「もがみイブニングサロン」を開催しております。このたび、東北地方で同様の取組みを行う岩手県奥州市・秋田県湯沢市の各イブニングサロンとより一層連携し、企業間交流を深めるため「東北イブニングサロンネットワーク」を立ち上げました。



「東北イブニングサロンネットワーク」を立ち上げました。

12月14日(金)、大地会館において、設立記念イベントを開催し、「東北イブニングサロンネットワーク」の設立を宣言するとともに、3つのイブニングサロンから「東北発 〇〇なニュービジネス」と題して、新庄市の(株)森環境技術研究所ほか2社が話題提供を行いました。交流会では参加者同士が新たなビジネスの創出に向け情報を交換しました。 地域産業経済課 29-1309

「最上地区青少年育成懇談会」を開催しました！



12月8日(土)、新庄市民プラザを会場に「最上地区青少年育成懇談会(主催:最上地区青少年育成連絡協議会)」を開催しました。新庄最上地域の高校生と青少年育成推進員などの大人約80人が4グループに分かれ、「地域を活性化するために～高校生のかかわりを考える～」をテーマに地域活性化のための方策と、それに高校生がどのように関われるかについて意見交換を行いました。

各グループからは「地域の良さや特産品のPRに高校生のアイデアを活用する」「多様な年齢層が参加できるイベントを開催する」「ボランティア団体の育成や活動の場を確保する」といった意見が寄せられました。今後、各グループから出された「地域を活性化するための方策」や「高校生のかかわり方」を提言として各市町村に届け、これからのまちづくりに活かしていただきたいと思います。

子ども家庭支援課 29-1221

「米香房Gratia*s」で「あぐりカフェセミナー」開催

11月26日(月)、管内の女性農業者9名が今年度の県アグリウーマン塾の塾生である高橋綾さんの農家レストラン「米香房 Gratia*s」(新庄市十日町)で開催した「あぐりカフェセミナー」に参加しました。

若手女性農業者の経営参画や仲間づくりを支援するため、農業技術普及課と(公財)やまがた農業支援センターが共催して実施したものです。

「遠藤ファーム」(新庄市鳥越)代表の遠藤信子さんから、農業や化学肥料を使用しないコメや野菜を使った安全安心な加工品づくりなどの取組みを紹介いただき、6次産業化や農業経営改善の取組み、自分が主体的に経営に関わる方法等活発に意見交換しました。今後も、女性の発想力、行動力、ネットワーク力をいかした経営参画や地域の活性化につながる活動を支えていきます。

※「米香房 Gratia*s」(TEL 090-6223-3502)は12月からオープンしています。

農業技術普及課 29-1326



「進路を考える学習会」を開催しました

12月18日(火)に新庄市立明倫中学校(2年生76人)、19日(水)に鮭川村立鮭川小学校(5年生29人)、20日(木)に大蔵村立大蔵小学校(5・6年生50人)で、医療・介護職に関する学習会を開催しました。

明倫中学校では医師・薬剤師・看護師・介護福祉士、鮭川小学校では薬剤師・保健師、大蔵小学校では薬剤師・看護師・理学療法士・介護福祉士の方々が講師となり、具体的な仕事内容やその職に就いたきっかけ等について講話を行いました。さらに両小学校では各職種に関する体験学習も行い、医療・介護職に興味を持ってもらえたようで、学習会終了後には「医療・介護関係の仕事に就いてみたい」という感想が多く聞かれました。



保健企画課 29-1256

「オールもがみ若者定着・人材確保推進会議」開催

若者の地元定着及び人材確保に向け、最上地域の関係団体等が一丸となって取り組む「第2回オールもがみ若者定着・人材確保推進会議」を12月12日（水）に開催しました。



冒頭で最上管内の高校3年生で卒業後就職する生徒の県内就職希望割合は71.8%（10月現在）となり、過去10年間（実績）で最高の割合となったことが報告されました。

また、この会議で検討された内容を「今後の取り組みの視点」としてまとめました。

【今後の取り組みの視点】

- 1 市町村、総合支庁の相互の取り組みの共有・連携
- 2 若いときからのキャリア教育の充実
- 3 保護者の地元企業に対する理解の促進
- 4 企業の情報発信力強化・受入体制の充実
- 5 住宅など、若い住みやすい・回帰しやすい環境の整備
今後はこれに沿った施策を展開していきます。

地域産業経済課 29-1306

最上地域の米食味コンクール

12月13日（木）最上総合支庁農業技術普及課産地研究室において、やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部主催の「食味コンクールの最終審査並びに表彰式」を行いました。今年度で13回目となる本コンクールには、「はえぬきの部」に30点、「つや姫の部」に41点の応募があり、審査員が1次審査の上位各3点を実食して評価しました。

その結果「はえぬきの部」では大蔵村の角川憲一氏、「つや姫の部」では金山町の今田政男氏と鮭川村の八鍬修一氏が同点で最優秀賞に選定されました。また、2次審査に選出された6点は、やまがた攻めの米づくり日本一運動本部（県内生産者対象）が主催する食味コンクールに出品されます。農業技術普及課では、引き続き食味コンクール開催等を通じて、最上産米全体の品質・食味向上の取り組みを支援していきます。



農業技術普及課 29-1330

「もがみ地域材利活用研究会」を開催しました

10月26日（金）、最上地域の木材の利活用を進めていくために、第1回もがみ地域材利活用研究会を庄内地域で開催しました。製材・建築業者、種苗組合、行政関係者が参加し、地域材をふんだんに使用した庄内地域の木造施設（キッズドームソライ）の見学を行った後、樹齢250年を経た金山杉が主材として使用されている酒田市の出羽遊心館を会場に、最上地域産の良質なスギ材の更なる活用をテーマに意見を交換しました。参加者からは「最近、建売住宅を購入する人が多い」、「クロス張りの住宅が多く木構造が見られないので、木構造を見せて木に興味をもたせたい」、「子供の頃、園舎で育ったことを覚えている。子供が育つ学校などではスギ材をもっと使うとよい」などの意見が出されました。これらの意見を踏まえ次回の研究会では、具体的な地域材の利用拡大策について検討していきます。



森林整備課 29-1351



「もがみ未来創造フォーラム」開催

最上地域の将来像について話し合う、「もがみ未来創造フォーラム」が、11月26日（月）に新庄市民プラザで開催されました。

当日は、最上8市町村の企業や団体の職員、県・市町村の職員、市町村議会議員など約350人が参加し、安達峰一郎記念財団理事の石田照雄氏による「10年後の新庄・もがみを考える」と題した基調講演の後、石田講師、井上新庄商工会議所会頭、須藤最上総合支庁長による鼎談に各業界団体の代表16人が加わり、高速交通網整備や山形新幹線の利便性向上、「道の駅」建設などの最上地域の課題について意見を述べ合いました。

主な意見としては、「国の危機管理上、高速交通網整備は必要」、「乗客に混乱が生じないように山形新幹線は全便新庄発着とするべき」、「最上地域の拠点となる道の駅を新庄IC付近に作るべき」、「道の駅と一緒に縄文の女神の展示施設を整備してはどうか」、「東北全体で考えると、最上地域は南と北を繋ぐ重要な地域であるという視点を持たないといけない」といったものがあがり、

連携支援室 29-1236



もがみ木質バイオマス発電所・バイオマス燃料製造施設 新築工事竣工式

11月30日（金）、新庄市中核工業団地内にて、「もがみ木質バイオマス発電所新築工事」の竣工式が発電所関係者、工事関係者等の出席のもと、開催されました。来賓として須藤最上総合支庁長が「もがみ木質バイオマス発電所から生み出されるエネルギーが、安心して暮らすことのできる地域社会づくりに末永く活かされますことを祈念申し上げます」と祝辞を述べました。

もがみ木質バイオマス発電所の操業により、「やまがた森林ノミクス」の目指す森林資源の循環利用の取組みを推進する体制が一層充実することとなり、間伐材や山で伐り捨てられていた小径材や枝条、端材などの「未利用材」をチップ化し、燃焼・発電する材料として有効活用が図られます。

森林整備課 29-1351



保育園へ

「最上の樹の積み木」 プレゼント

12月21日（金）、新庄市中核工業団地内にある

「ふくだのやま あじさい保育園」において、最上地域の豊かな森林資源を森の恵みとして有効活用する『やまがた森林ノミクス』の取組みと、森や自然の恵みに感謝し豊かな心を育む『やまがた木育』の普及啓発活動として、最上地域林業振興協会（会長：須藤最上総合支庁長）が園児に最上地域の木材で作った積み木をプレゼントしました。積み木は、地域から産出されたブナ、ヤマザクラ、オニグルミなどの木材を使い製作しました。幼児向けに大きめの面取り加工や無塗装、無着色で、人体に無害な仕様となっています。子どもたちは一足早いクリスマスプレゼントに、大喜びで遊んでいました。

森林整備課 29-1357





最上伝承野菜フェア

ご参加いただきありがとうございました！

11月12日（月）～12月9日（日）に、第10回最上伝承野菜フェアを開催しました。今回は県外から初参加となったホテル JAL シティ仙台などを含めた合計25店舗の飲食店、旅館、産直施設などが参加し、「最上かぶ」「甚五右エ門芋」などの旬の最上伝承野菜を料理などで提供しました。



提供された料理の一例



また、フェア初日には、(株)おかしの平和堂の阿部シェフ・パティシエを講師に、お菓子作り教室を開催し、大好評でした。今後、フェア期間以外でも最上伝承野菜が食べられるお店情報をフェイスブックなどでご紹介していきますので、お楽しみに！



フェイスブック

←お菓子作り教室で作った「伝承蕪とクレープのミルフィーユ仕立て」

農業振興課 29-1316

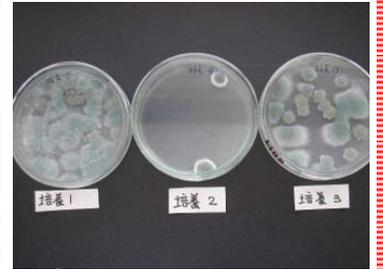
「最上地域きのご栽培害菌対策研修会」を開催

11月29日（木）、最上交流センターゆめりあを会場にきのご栽培害菌対策研修会を開催しました。

山形県は、全国でも有数のきのご生産地であり、中でも最上地域は、県内のきのご生産量の約7割（7,200t）を占めています。しかし、近年の異常気象の影響や施設の老朽化などによる害菌の汚染により、きのごの発生不良などが増える可能性があることから、常日ごろから害菌の侵入に目を配る必要があります。

そこで、きのごアドバイザーを講師にきのご栽培施設の点検の方法や害菌を確認するための寒天シャーレを使った落下菌検査の方法について研修を行いました。

参加者には栽培施設の点検シート、寒天シャーレ（検査用）を配布し、常日頃から自己点検を行い、きのご生産量の維持・拡大と経営の安定を図っていただくこととしています。



森林整備課 29-1347

災害は、いつ起きるかわからない。だから…

やってみよう

はじめよう

シェイクアウト

シェイクアウトとは、地震が発生した時に、自分自身を守るために真っ先に行うべき安全確保行動のことです。いざ地震が起きた時はまず自分の身をしっかりと自分自身で守りましょう！



屋外にいたら…建物やブロック塀から離れてカバンなどで頭を守ったり、うずくまります。

ローリングストック

災害は、いつ身近に起こるかわかりません。ひとたび大きな災害が発生した場合、生活に必要な食料や日用品が届かなくなることがあります。

ローリングストックとは普段使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、それらを日常生活の中で使いながら、使った分を買い足すことです。

まずはローリングストックで簡単に防災をはじめましょう！

誰でも簡単！手軽に3ステップ！これがローリングストックだ！



お知らせ

産直まゆの郷リニューアルオープン

農産物直売所「まゆの郷」(新庄市)が、耐震化工事を終え、12月7日リニューアルオープンしました。

店舗として活用している国登録有形文化財の蚕室が、建設当時の趣を残したままリノベーションされ、魅力満載のお店となりました。

農業技術普及課 29-1331



雪下ろしや除雪作業中の事故にご注意ください!

- 雪下ろしの際は、「命綱、ヘルメットを使用する」「はしごをしっかりと固定する」「2人以上で作業する」などに注意してください。
 - 除雪機を使う際は、「安全装置が正しく作動しない状態では使用しない」「雪詰まりは、必ずエンジンを止めて雪かき棒を使用する」「作業中は、まわりに人がいないことを確かめる」などに注意してください。
- 安全な作業を常に心がけ、雪害事故を防止しましょう
防災安全室 29-1209

「ゆきみらい2019 in 新庄」の開催

雪国における克雪技術および利雪・親雪の現状や課題、雪に強い地域づくり、雪国文化を活用した産業・観光振興や新たな技術開発など、様々な取組に対する意見交換や情報発信、地域の活性化を目的に開催します。(入場無料、申込不要)

日時: 2月7日(木)~8日(金)

場所: 新庄市民文化会館、ゆめりあ、新庄駅駐車場

内容: シンポジウム、研究発表会、見本市、除雪機械展示・実演 建設総務課 29-1391

冬の入浴中の事故にご注意ください

寒い冬はあたたかい“お風呂”で身体の芯まで温まりたいですね。ただ、入浴の方法によっては、事故につながる場合があります。最悪の場合、死亡するケースもありますので注意が必要です。対策としては、お湯の温度は**41℃以下**にして、お湯にかかる時間は10分程度としましょう。入浴前にお風呂場や脱衣所をあらかじめ温めておくことも重要です。また、高齢者の方は、家族に一言声かけをしてから入浴するようにしましょう。

地域保健福祉課 29-1267

油流出事故に気を付けて!!

冬は、油の流出事故が起きやすい季節となります。ホームタンクの点検を定期的に行う、灯油を移し替える時はその場を離れないなど、灯油を外へ漏らさないよう注意しましょう。

また、油の流出事故を発見した場合は、消防署、警察署、市町村、総合支庁へ連絡をお願いします。

環境課 29-1286

《最上管内献血日程》1月

1月6日(日)ヤマザワ新庄店

1月17日(木)県立農林大学校、最上総合支庁

1月27日(日)ヨークベニマル新庄店

詳細な時間等は保健企画課へお問い合わせください。皆様のご協力をお願いします。

保健企画課 29-1258



道路除雪作業についてのお願い



冬期間、県道の交通を確保し安全で安心な生活を守るため、道路の除雪作業を行っています。

限られた機械・時間での除雪作業を安全で効率的に進めるため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

道路計画課 29-1389

発行日: 平成31年1月4日

発行元: 山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話: 0233-29-1360 FAX: 0233-23-2605

HP (<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogosicho/mogami/314001/eco-polis.html>)

Twitter



あけまして
おめでとう
ございます。
今年もよろしく
お願いします。



もがみるくん